




身延山大本堂にて 厳粛に認証式

法燈継承式は

11月21日(日) 挙行

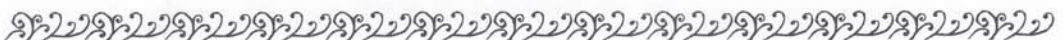


圓頓寺
たより

発行所
山鹿市山鹿55
圓頓寺
☎43-2424



平成22年度 第2回新住職認証式記念 6月25日



日蓮宗総本山身延山 住職認証式法要を終えて

本年は、圓頓寺にとって住職交代の重大な年で、法燈継承の年をむかえます。

去る、六月二十四日（二十五日）に、日蓮宗総本山身延山久遠寺に於いて、日蓮宗主催で住職の「認証式」



住職認証証をいただく英人上人

宗門法要が奉行され、日攝英人上人は認証式で、新住職の認証を宗門より受けられました。

続いて、圓頓寺の御住職の御引退と後継の新住職をお迎えするに当り、檀信徒全体の記念事業として、来る十一月二十一日（日）に、當山の住職交代の「法燈継承式」が予定されています。法燈継承とは、仏さまの御教え（法）の燈（ともしび）を永久に承け継ぐということ、圓頓寺の檀信徒にとって、前住職、新住職にとっても一世代の極めて大切な一大事の式典であります。

従って、檀信徒総会を三



祝杯をいただく英人上人

回開き、ご相談申し上げ、檀信徒の記念事業として推進することに御同意を賜り、現在続々として、記念事業負担金の御志納を頂いております。

負担金御志納がまだの檀信徒の皆様には、更に趣意書をご理解頂きご支援を賜われば、今後、事業委員会では、遺漏なく式典を円成することを期して、諸準備を進めたいと存じます。

婚礼・着付

サンロード大住

山鹿市古閑 1286-3

☎ 44-6277

法燈継承式趣意書については、既に拝送申し上げましたが、願わくば、左記の通り「趣意書」を今一度、熟読いただき、事業負担金は、格別の御配慮を賜り、早目に御志納頂くようお願い申し上げます。



総本山久遠寺で新住職とともに

法燈継承式について

(以下趣意書)

法燈継承式とは、晋山式・入寺式とも言います。仏

(ほとけ)の法(おしえ)のともしびを目指して、受け継ぐという意で、新しい御住職の就任式の事をいいます。

當山、「圓頓寺」は他宗派寺院が周辺に多い熊本城北の地で、随一の法華経広宣流布の道場として、寛永元年(一六二四)甲子の歳、本光院日授上人により、開基創建され、三百八十余年の歳月を経て、山号を「常明山」と称します。この香華道場は、日蓮大聖人を祖師と仰ぎ、その御遺言を尊奉護持する身延山久遠寺の嫡流であり、また、肥後国主・加藤清正公の菩提寺でもある「旧本山・発星山本妙寺」の直末でもあります。以来、檀信徒の方々の信仰篤く、御参詣も多く、時に本堂・庫裡炎上の不幸を

乗り越え、仏様のお住まいであります本堂をはじめ、鐘樓・山門その他の伽藍、また檀信徒のご先祖の御霊を守護された歴代住職上人は三十三代を数えます。

この度、第三十三世・荒木英知日薫上人には、三十五年の永きにわたり當山護持に精進され、その間、住職を務められ、清正公ご入滅四〇〇年のこの機会に後進に道を譲られる事と相成り、荒木英人日攝上人が第三十四世の住職として、法燈を継承されます。

継承式は檀家の記念事業

継承式は、伝統ある圓頓寺の一大慶事ですが、御寺自体が計画施行される行事ではなく、私達檀家が、その意義を充分理解し、檀家



郷土に生まれて味ひとすじ



仏・祝会席・鉢盛・寿司

プラザ店 ☎ 44-4743 ☎ 43-1739
仕出部 ☎ 44-5804

記念事業で駐車場購入

また、時を同じくして、先般、隣接する百五十余坪

自体の努めとして、檀家としての本分と責務を自覚することが第一義であります。尚、當山・圓頓寺を永きに亘り、御住職として守つていただいた荒木英知上人の御恩に如何に報い、その御徳に如何に謝すべきか、また、後進の新住職として、當山の法燈を継承され、今後私達檀家の葬儀や仏事など、一切を導師として勤められ、私達の教化にも尽力され、ご自身の魂も當山に埋められる荒木英知上人の、有難い一世一代の御入山を如何に厚くお迎えするか、檀家一人ひとりの強い感応と自覚が大切であります。



立教開宗会で導師を務める英知上人

の上市側の土地を、圓頓寺境内地として取得することができました。永年の土地買収の思いが叶いましたことは、正に、圓頓寺の諸仏諸天のご加護の賜と深謝し、皆さんの共有財産として、ご不便をおかけすることなく、参詣者の駐車場の用に供しています。只今、護持会より新駐車場購入借入金返済中であり、この度の記念すべきとき、継承

式の事業の一として、その借入金返済費を充当し完済したいと存じます。以上のことを基本に踏まえて、昨年度より、総代会・護持会役員会・総会など、数度の検討の結果、「法燈継承式」は檀家の記念事業として執行することになり、収支予算案は次のとおり決議されました。

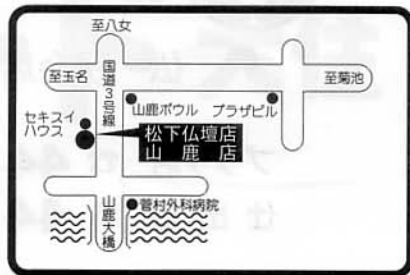
法燈継承式・収入予算

- ※檀家負担金総代・篤信者 壱口十万円以上 計 六〇〇万円
- ※一般篤信者 壱口参万円以上 計 三〇〇万円
- ※一般檀家 壱口参万円 計 一、二〇〇万円
- 収入合計 二、一〇〇万円

仏壇・仏具専門店
まつした
株式会社 松下仏壇店

- 大牟田本店**
大牟田市上町2丁目2 上官通り
☎0944-56-3675
- 熊本店**
熊本市上水前寺1-12-12
(東バイパス熊工前)
☎096-384-5666
- 玉名店**
玉名市中平畑1832 玉名高校入口
☎09687-4-4840
- 山鹿店**
山鹿市大橋通り404
☎0968-43-5665

●仏具のご注文がございましたら、多少にかかわらず配達いたします





鬼子母神大祭で導師を務める英人上人

法燈継承式・支出予算

※記念事業費

駐車場購入借入金返済費

八〇〇万円

清正公ご入滅四百年本妙

寺復興寄進料二〇〇万円

先住上人退任報恩感謝料

二〇〇万円

新任職御法衣料

二〇〇万円

※式典費

式典法要関係 一三〇万円

※記念品他

檀家記念品・清宴関係

一〇〇万円

法縁寺院記念品・接待関係

一一〇万円

※事務費

通信印刷

八〇万円

※雑費

宗務院認証札登録料

一三〇万円

※予備費

各科目不足補充五〇万円

支出合計 一、一〇〇万円

事業負担金御志納について

①継承式は本年、十一月二

十一日(日)執行する予

定です。

②負担金は記念事業と御祝

の意を含めて、一戸当り

三万円以上の御志納をお

願います。

③御志納は、本年五月から



昭和56年天童行列(先頭は現・英人上人)

十月まで、一括または分割でお願いし、地区総代・世話人の方を通して御志納願います。

法燈継承式事業委員会

阿蘇品・井上前総代に感謝状贈呈

阿蘇品宗廬様、井上勝介様におかれましては、圓頓寺の本総代、護持会役員として寺門興隆に誠心誠意ご

この街と生きていく face to face

熊本第一信用金庫 山鹿支店

〒861-0501 熊本県山鹿市山鹿1616-7

TEL 0968-44-4125



初講で合掌する栗原総代

総代 栗原 辰也

法燈継承式にご支援を

尽力を賜りましたが、このほどご勇退されました。阿蘇品様は事務局、副会長として十七年間、井上様は会計、副会長として十一年間の永きに亘り筆頭総代、護持会会長を支え、法燈継承式や立教開宗七五〇年法要、慶讃事業、英人上人の二回の大荒行入行・成満など大きく困難な事業を、中

心となつて遂行されました。護持会に賜りましたお二人の多大なご功績に対しまして総会において感謝状、記念品を贈呈、謝意を表し、出席者からも大きな拍手と勇退を惜しむ声を送られました。今後お二人のますますのご健勝、ご活躍をお祈りし、御礼といたします。

月日のたつのは早いものです。正月の圓頓寺たよりで檀信徒の皆様方にはご案内申し上げております、菩提寺圓頓寺法燈継承に伴う順境院日攝上人（英人上人）新任職就任の認証式が、六月二十四日総本山身延山に於いて宗門主催で行われます。既に団体参拝のご案内



平成5年11月21日法燈継承式

も致しておりますが、檀家の一人として、総代として同行しお祝いを申し上げたいと思います。またその後圓頓寺ご本尊の御前での法燈継承式は、先の護持会総会に於いて十一月二十一日に執行予定と決定し、檀信徒の皆様方には法燈継承式並びに記念事業等につきましては、趣意書を以つてご案内申しあげ

セシモニーホール

宮川葬祭 TEL (0968) 43-2211

フリーダイヤル 0120-45-0948 よい れいぎゅうしゃ

山鹿
天龍会館

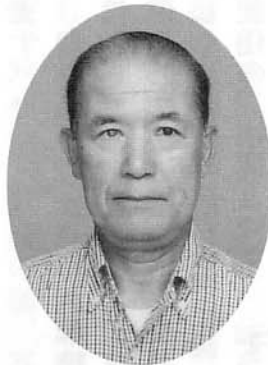
TEL (0968) 44-0444

ているところですが。趣意書にも記しておりますとおり、法燈継承式は当山開基以来三百八十余年に亘り伝統ある圓頓寺の一大慶事でありますが、お寺自体が計画執行される行事ではありません。私たち檀家がその趣意を充分理解して檀家自体が施行する行事であります。このことをお一人おひとりが自覚していただくことが大切であります。なお又永きに亘り圓頓寺のご住職としてお守りいただいた、順信院日薫上人（英知上人）の報恩感謝に如何に報い、対処すべきか、又新住職として順境院日攝上人（英人上人）を温かくお迎えし、諸仏事の導師としてご尽力いただくことに、如何に対処することが出来るかが大切であろうと思います。

また、法燈継承記念事業としてそれぞれに企画を致し、護持会総会で承認を頂いております。是非執行いたしたいと思えます。檀信徒の皆様方におかれまして

総代就任のご挨拶

総代 中原 康一



このたび、宗教法人圓頓寺の総代を仰せつかり、お受けいたしました。

知識・見識もないに等しく、信仰も薄く不安もあります。御住職上人はもとより山下筆頭総代、先輩

は誠に出費多端の中であると存じますが、菩提寺の稀有なる慶事事業でありますので、何とぞご賛同、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。合掌

代の方々の末席に加えていただき、ご指導を仰ぎながら微力ですが精一杯努めてまいります。

檀信徒の皆様におかれましては、日頃からの信仰、いろんな行事など多方面にわたるご協力をいただいておりますことに、深く敬意を表します。

今後は、檀信徒の皆様のお力添えと御住職上人の御教導を賜り、少しずつでも先輩諸氏に近づき、一層精進し、又とない修行の機会



お題目からはじまる。

ビル新築工事から増改築まで何でも致します

住宅金融公庫其他手続代行

有限会社 **井上組**

井上 勝 介

熊本県山鹿市下吉田691番地

TEL. 43-2204

朝日新聞

山鹿専売所

山鹿市上広町344の7

☎ 43-2664

藤本 俊 範



総代就任のご挨拶

総代 田中 栄一

初夏の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

私、このたびの護持会総会に於いて名総代の井上勝

をいただいたことを感謝し、総代の本分に心血を注ぎながら、報恩行を尽くしたいと存じます。
特に今年度は、順境院日攝上人（英人上人）の新住職認証式が六月二十五日に身延山・久遠寺に於いてあり、私もこの感動を味わいたいと団参に申し込んでいます。
圓頓寺における住職交代の「法燈住職継承式」が十一月二十一日に予定されて

います。英人上人の新住職として就任される記念すべき年に、総代の重責を務めることは身の引き締まる思いと無常の悦びとし、来る十一月二十一日まで信行的に準備いたす所存でございます。
意を尽くしませんが本総代としての決意を記し、檀信徒の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。就任のご挨拶といたします。

合掌

介様、阿蘇品宗道様ご勇退の後を受けて、総代の席を受け継ぐことになりました。しかし、現在も現役にて仕事をしておりますし、何かとご迷惑をお掛けするのではと危惧しておりましたが、お上人・役員の方々のご理解をいただきまして、このたびの任務をお受けすることと致しました。

私、責任の重さを感じているところであります。前任者のように魅力あり指導力ある総代としてお勤めが出来るか心配しておりますが、お上人・各役員を始めご門徒の方々のご支援を得ながら、さらに研鑽を積み総代として護持会活動に努める所存でありますので、皆様の一層のご指導・ご協力を重ねてお願い申し上げます。今後、

大小宴会・会食

祝儀・仏事・会席・鉢盛・折詰

横手会館

横手仕出し

山鹿市九日町(八千代座前)

TEL. (0968) 43-2206

割烹よこて

肥後銀行前 TEL. 43-7500

色々な事業等ございますが、
仕事上参加できぬ場合もご
ざいますのでお許しいただ
きたいと思えます。

最後に、ご門徒皆様方の

ご健勝と圓頓寺護持会の
益々のご発展を祈念申し上
げ、就任のご挨拶といたし
ます。

合掌

立教開宗会・大黒天祭と婦人会

婦人会副会長 阿蘇品ケイ子



献膳の儀の阿蘇品さん(左)

風薫る五月三日好天候に
恵まれ、今年も立教開宗会・
大黒天大祭に多くの檀信徒
の皆様方がお詣りされまし

た。

私たち婦人会は、五月一
日はもち米を洗い、二日は
当番地区の方々で大黒餅を
搗いたり、おとぎの下準備
バザー用品の準備、掃除な
どいろんな準備をし、三日
も早朝からおとぎ、大黒赤
飯、バザー、献膳の儀、写
経などなど万端の準備をし、
会員もそれぞれ受付をして
番号札をいただき、立教開
宗七五八年法要・大黒天大
祭の始まりを待ちました。
本堂ではお子さんが若い
お父さん、お母さんに手を



当番地区・婦人会のおとぎ準備

ひかれ、一緒に可愛い手を
合せてお詣りされている姿
を見ると、何かホッとす
るものがございます。
半鐘が打ち鳴らされ、住
職・英知上人、副住職・英
人上人始め五名のお上人様
が入堂、それぞれに着座さ
れ立教開宗法要が始まりま
した。読経の中婦人会代表
三名による献膳の儀、檀信
徒代表十名による写経があ

毎度ありがとうございます
米・肥料・農薬・たばこ
(全商品配達致します)

(有)あそしな米穀店

代表取締役 阿蘇品 和彦
☎ (0968) 43-2526
無料電話 0120-23-2526
山鹿市大宮町641-2

熊本日口新聞

(有)熊日山鹿南販売センター

山鹿市大宮町439

阿蘇品 宗 旭

社会福祉法人 大道福祉会

若葉保育園

理事長 阿蘇品 賢 治
園長



一字一石写経する婦人会代表

りました。引き続き大黒天
 大祭が執り行われ、住職・
 英知上人により、お祖師様
 の前に安置された大黒尊天
 様が清められ、五名のお上
 人様による加持祈祷も行わ
 れました。

立教開宗会・大黒天大祭
 が終わって参詣の皆様は檀
 信徒会館へ移動し、婦人会・
 当番地区心づくしのおとき

をいただかれて本堂へ戻り、
 福引を待つておられます。
 婦人会、当番地区の方もお
 ときの後片付けが終わり本
 堂へ急ぎ、福引が始まりま
 した。福引中はあっちこつ
 ちで笑い声が広がり、和気
 藹々あたたかの中一般福引が進み、
 自分の番号を確かめ大きな
 箱をいただき、帰って開け
 てみたら沢山の線香でいろ
 いろな香りが仏間一杯に広
 がり、お仏壇にいい香りの
 お線香を供えることが出来
 ます。

昨年が続いて子供福引も
 行われ、特別福引へ移りま
 した。特別福引は特別賞を
 提供された方が番号をひか
 れ、次々に当選された方に
 豪華賞品が渡されました。
 婦人会も瀬口ミス子会長が
 抽選箱から番号札をひいて、
 栗原秀夫さんへ婦人会提供



護持会総会の木下さん

信行会会長 木下美枝子

報告とお知らせ

の賞品が渡されました。皆
 様も私同様に福をもらって
 帰られたと思います。
 今年は新任職認証式が身
 延山で行われます。また十
 一月には法燈継承式が予定
 されています。お題目を唱
 えた力を活かしていきたい
 と思っております。

信仰とは心のよりどころ
 である。苦しみや悩みと共
 にある。人生で心のよりど
 ころこそが人を強くし、ま
 た時には励ましてくれる。
 それこそが信仰であろう。
 必ず安心（あんじん）とい
 うステージに立てると信じ
 ている。（日蓮宗新聞）合掌

今年も半分の月日を過ご
 すことになりました。

圓頓寺たより一月号で英
 知上人より、英人上人に法
 燈住職継承されることを知
 り、脳天を一撃された感じ
 でした。ポーツとしている
 場合じゃない。英知上人に
 頼りそして教えていただき、
 何も分からない、知らない
 私をこれまで育てていただ
 きました。いつまでも今ま



寒修行の木下さん（2人目）

でどおりに過ごさせていた
 だく心算でした。庇護され
 ていた手を打ちかはらわれ、
 突き放された感じでした。
 英人上人も立派なお上人
 になられたのですから、親
 御上人としては、交代して
 一人立ちをと考えられるこ
 とは当然のことでしょう。
 恵子奥様からも、「喜んで
 若上人をささえてください」
 と諭されました。

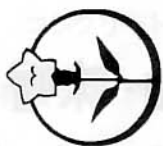
さて今年は大変な年にな
 りました。大事業です。
 法燈継承式を檀信徒が異
 体同心でなしとげ、若いお
 上人に新しい風を吹かせて
 いただきたいと思えます。
 毎年この時季のたよりに
 は同じことを報告すること
 になります。二月十日大
 荒行成満の日です。千葉中
 山法華経寺大荒行堂から九
 名のお上人がすごい姿で帰っ
 てこられました。

二月十二日花園 仙乗院
 三坂恵豊上人（再）
 二月十三日坪井 本光寺
 名和義洋上人（再）
 二月十四日山鹿 本澄寺
 園田本忠上人（再）
 二月十五日多良木 延寿寺
 松本就顕上人（再）
 二月十七日花園 東光院
 松石賢哲上人（初）
 二月十八日白水 妙宣寺

吉里文教上人（初）
 二月十九日横手 覚圓寺
 三坂裕幸上人（初）
 二月二十日横手 妙永寺
 有戸光政上人（再）
 二月二十二日荅北 長久寺
 斎藤義彰上人（初）
 最後に二月二十三日 本妙寺
 清正公様にご報告式で今
 年の帰山式は終了です。
 九名のお上人様の内五名
 の方が再行で、初行のお上
 人様方は心強かっただろう
 と思いましたが、再行のお
 上人の言葉の中に、「再行
 だからと思つて入行したが、
 こんなはずではなかったと
 言うほど、やっぱり辛かつ
 た。」とのことでした。声
 は嘎れ、絞り出すようなお
 経が私共の体の中にしみ込
 んでゆきます。何とも言え
 ないありがたい報告式にお
 詣り出来ることを幸に思つ

歴史と文化の街 日本一の装飾古墳と八千代座

山鹿温泉



清流荘 鹿門亭

〒861-0501 熊本県山鹿市下町1768
 電話 山鹿 (0968) 43-2101(代)
 ファックス (0968) 43-5153